



神戸学園都市

ワイズメンズクラブ



THE Y'S MENS CLUB OF KOBE GAKUENTOSHI
THE SERVICE CLUB TO THE YMCA

2020 年 11 月 (通巻 317 号)

< 主 題 >

- ・神戸学園都市クラブ会長：柴田昌一：「みんなでチャレンジしよう」
- ・国際会長：Jacob Kristensen (デンマーク)：「命の川を信じよう (Trust in the river of life)」、スローガン：価値観、リーダーシップ、エクステンション
- ・アジア太平洋地域会長：David Lua (シンガポール)：「変化をもたらそう (Make a difference)」
スローガン：奮い立たせよう
- ・西日本区理事：古田祐和 (京都トウビー)：「Let's do it now,
2022 に向けて誇りを持って All is well」
- ・六甲部長：安行英文 (さんだ)：「行動に信念を、信念は行動に」
Believe in what you do. Do what you believe in.
- ・2020 年 11 月強調活動：Public Relations Wellness:大槻信二 広報・情報委員長 (京都センチュリー)
「ワイズメンズクラブの活動を広報して、社会的認知度を高めましょう。」

11 月 第 1 例会

- ・日時：2020 年 11 月 19 日 (土) 19:00～
- ・場所：西神戸 YMCA
- ・内容：卓話「政治家とは」
隠樹圭子ワイズ

< 今月の聖句 >

「どんな願い事であれ、あなたがたのうち
二人が地上で心をつにして求めるなら、
わたしの天の父はそれをかなえてくださ
る。」

(マタイによる福音書 18章19節)

11 月誕生者おめでとう

内田 邦彦 (11/20)

10 月の出席状況

第一例会 7 名
事務例会 11 名
ビジター 2 名

7 月～ 累計ファンド

- ・CS (年賀切手) 0 円
- ・TOF (断食) 0 円
- ・FF (家庭の断食) 0 円
- ・BF (古切手) 0 円
- ・東日本募金 0 円
- ・Yサ・ASF 0 円

[役員] 会長：柴田昌一、直前会長：杉本隆人、書記：杉本隆人、会計：中村 剛、連絡主事：櫻井英治
[委員] 地域奉仕・環境：内田邦彦、Yサ・ユース：森本哲男、交流：隠樹圭子、ファンド：丹家元陽、仁科拓巳
EMC：藤井久子、広報・プリテン：田辺征一、メネット：合田純二、メール委員：田辺征一、
[六甲部役員] JWF 委員：杉本隆人 [IBC] 台湾高雄ポートクラブ (2004 年 1 月締結)
[DBC] 東京武蔵野多摩クラブ (2011 年 6 月締結) [DBC] 岡山クラブ (2018 年 6 月締結)

神戸学園都市クラブ 〒651-2102 神戸市西区学園東町 2-1-3 TEL 078-793-7402 FAX 078-793-7470
事務例会：第 1 木曜日、第 1 例会：第 3 木曜日、クラブホームページ

<http://www.kobeymca.org/ys/gakuen/bulletin.html>

<10 月例会報告>

日時：2020 年 10 月 17 日(土) 10:00~12:00

場所：西神戸 YMCA

出席：櫻井、田辺、辻本、中村、仁科、野呂、森本

今年の“ワイワイまつり”はコロナ禍のために Youtube Live を使い OnLine で開催されました。午前 10 時からスタートし、我がクラブの出番は 10:50 から 15 分間。前もって録画されていた柴田会長・杉本書記の挨拶に続き、当日出席の 7 名のメンバーによるクラブ紹介が実況中継されました。櫻井担当主事の主導のもと、ジャガイモと黒ニンニク販売の宣伝をしました。各人が販売ポスターを手に持ちアピールを行いました。早速、東京武蔵野多摩クラブの渡辺ワイズが中継のスナップ写真を送ってくれました。ご視聴いただきありがとうございました。

(田辺征一)



<11 月事務例会報告>

日時：2020 年 11 月 5 日(木) 19:00~20:15

場所：西神戸 YMCA

出席：内田、櫻井、柴田、杉本、田辺、丹家、中村、仁科、野呂、森本、藤井

報告事項

- (1) 2020 年~2021 年 YMI ワールド日本語版 完成(出席者に回覧)
- (2) 大阪サウスクラブ 65 周年記念例会 11/10
- (3) 西日本区大会開催 京都ウエスティン H 6/5, 6
- (4) 学園都市 OnLine わいわいまつり 10/17 録画とライブで参加
- (5) 黒にんにく販売開始、じゃがいも販売 店舗販売を中村ワイズ中心に実施

協議事項

- (1) 西日本区メネット事業献金 10,000 円を決定
- (2) 次期会長候補者に田辺ワイズが推薦される。次年度担当する主査は空き番で候補者決定は不必要。
- (3) 11 月例会 講師：隠樹圭子ワイズ
- (4) 2 月例会クリスマス例会：YMCA との共同開催は未定
- (5) 1 月新年例会 23 日(土)「あみ」
- (6) 2 月例会 ヨガ講師による体験学習

YMCA 報告

- ・日本語学科留学生 20 名が 12 月来日、暖房器具の寄贈受付中

<On Line 合同例会報告>

10 月 14 日(水)午後 7 時から ZOOM を使って DBC の東京武蔵野多摩クラブ主催の On Line 合同例会が行われました。参加者は多摩クラブが 9 名、あいにく当クラブからは 4 名と少し寂しく、岡山クラブは不参加でした。お互い久方ぶりの再会を喜び、クラブの近況状況を報告しました。

その後、両クラブの担当主事の出沼ワイズと櫻井ワイズによりコロナ禍中でのY M C A 活動状況が報告されました。

3月の休館に始まり、各種プログラムが中止となる中、規模を縮小して徐々に活動が始められており、今後、コロナ禍の中で何が発信できるかが検討されている、ことなどが報告されました。
(田辺征一)

<リーダー委嘱式報告>

11月7日(土)13:00 神戸Y M C Aの礼拝堂で今年度の委嘱式が行われました。例年、4月に行われるのですが、今年はコロナ禍により延期されて、「キャンプ100シンポジウム」の中で行われました。今年度は24人のリーダーが委嘱状を受け取りました。

若いリーダーたちがキャンプに欠かせない存在であることを逞しく思ったひと時でした。



<新担当主事自己紹介>

櫻井英治

この度、神戸学園都市ワイズメンズクラブの連絡主事を担わせていただくこととなりました櫻井英治(さくらい えいじ)と申します。
よろしく願いいたします。



前回の東京オリンピックの次の年に播州で生まれ、高校までは播州で育ち、浪人時に神戸の地を踏みしめました。ちなみに播州人は姫路に遊びに行くときは普段着で出かけますが、神

戸に行く際は一張羅を着るとか着ないとか…。少なくとも、私にとって神戸は憧れの地です、今でも。

一浪の後、京都の仏教系R大学に入学。時はバブルの絶頂期、サークル活動に熱中しすぎて留年。この年からセメスター制度が導入され、半年だけの留年ですみました。私の卒業証書発行日は世にも珍しい平成元年9月30日です。

バブルが弾けたのも気が付かず、リゾートバイトや農家の手伝いのフリーターでぶらぶら暮らし。そろそろ正社員になりたいなと何気なく手に取った求人雑誌に“神戸 YMCA”の文字。4倍の競争率を勝ち抜いて1992年10月に入職。日本語学校、予備校高校生科、日本語学校、ホテル学科、あかしこども広場、本部事務局、高等学院を経て、大阪YMCA出向、2020年4月に再び神戸に舞い戻り西神戸ランチ勤務、今に至ります。

今まではチャリティーランなどのイベントでワイズメンの皆さんと関わってきました。これからはどっぷりとワイズダムに浸りたいと思っていますので、お手柔らかに。

< 寄 稿 >

「ジブラルタル海峡クルーズと色彩の

王国モロッコ 11日間」 (第5回)

8月25日(日)

朝食のフレッシュオレンジジュースがおいしい。スクランブルエッグと素朴なパンにハチミツ、ヨーグルト、ママレードが合う。そして、白いメロンが口をさっぱりとしてくれる。そして、フェズの街の観光に出発。

新市街には王宮があり、その広さはモナコ一国が入るとの事。中にはゴルフ場も。現地ガイドさんは、日本語ペラペラ。ジエラマ門からメディナ(旧市街)に入る。この街は世界一の迷路と言われ、一度迷うと絶対に出て来れないとの注意を受ける。メディナには所狭しと店が並ぶ。大量のミントを束で売っている八百屋さん。色とりどりの果物屋さん、生きたままの鳥を売っている店、香辛料店、乾物屋さん、極めつけはラクダの首がぶら下がっている肉屋さん。ちなみに一番高級な肉だそうです。

モザイクタイルが美しい神学校を見学後、ガイドさん知り合いの民家でのティータイム(勿論ミント)。タンバリン、鼓様の鳴り物入りで頂く。そしてすぐ近くのスズ職人の店で、ティー

ポットと下の受け皿を記念に。銀 80%スズ 20%
がいいらしい。

次は郊外のモザイクタイルの工場見学。再度、
メディナに入り昼食。ここでも 13 種類の小皿
料理がたっぷりと。メインはクスクスのタジン
（鳥肉、人参、ポテト、ピーマン、ウリの下に
大量のクスクスが入る）。デザートのスイカと
ブドウでさっぱりと。

更に迷路を右に曲り、左に曲りとたどり着い
たのは織物工房。シルク、麻、竜舌ランの葉等
で織ったターバン（スカーフ）は砂漠での必需
品らしい。ぐるぐると頭に巻き、砂が口に入ら
ないように目だけ出しているやつ。を 1 枚買っ
た。そして、ここで有名なのがバブーシュ。牛
の革製のスリッパ又は、サンダル様の物で非常

にカラフルな模様がつけられ、室内用と屋外用
がある。店の 3 階から眼下にその工程が見られ
る。200 以上の穴の中で皮をなめし、少しずつ
染色していく。炎天下の中、染色液を肩にかつ
ぎ穴に入れ、皮をバサッバサッとしごく。本
当の重労働。世界遺産になっているが、この仕
事続ける人が後に続くのかと不安になった。

夕食はメディナ内のレストランへ。まずはサ
ラダ、ここでは 6 種類（ビーツ、ズッキーニ、
人参、トマト、ナス、豆）の小皿料理。メイン
は七面鳥の串焼きに、ココナッツパウダーをま
ぶしたライスをなぜかオレンジジュースで。デ
ザートはナッツ入りのアイスクリームとプチ
ケーキ。

（丹家元陽）

＜ 今月の聖句 ＞

「どんな願い事であれ、あなたがたのうち二人が地上で心を一つに
して求めるなら、わたしの天の父はそれをかなえてくださる。」

（マタイによる福音書 18章19節）

会議用のワークショップ入門書を読んでいます。その中に、「私たちとは何か」という問いかけがありました。面白かったのは「You and I」と「We」の違いは何かというものでした。どちらも日本語では「私たち」になります。その本によると、「あなたと私」に第三者が加わったときに「我々」となると教えていました。この第三者をいつも感じ、受けとめている重要性が必要だと。まだ読み始めたばかりなので、そのことの意味はこれから学んでいきますが。確かに人間関係や諸活動において、この第三者の視点は確かに重要だと思います。聖書がまず、二人でと言われるときも、この第三者の存在があるように思えます。その第三者は神の御心です。つねに神を感じるところで「忠告」「願い」がおこるのです。ワイズ活動の中にもこの「第三者」を感じながら与えられた働きを進めていきましょう。

西日本区チャプレン 立野 泰博（熊本ジェーンズ）

西日本区理事通信2020年11月号から転載